

広聴特別委員会記録

平成30年5月9日

【開催日】 平成30年5月9日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後4時～午後4時15分

【出席委員】

委員長	長谷川 知司	副委員長	宮本 政志
委員	伊場 勇	委員	奥 良秀
委員	杉本 保喜	委員	高松 秀樹
委員	中岡 英二	委員	中村 博行
委員	藤岡 修美	委員	松尾 数則
委員	吉永 美子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

副議長	矢田 松夫		
-----	-------	--	--

【執行部出席者】

なし

【事務局出席者】

事務局次長	石田 隆	主査兼庶務調査係長	島津 克則
-------	------	-----------	-------

【付議事項】

1 3月議会報告会について

午後4時 開会

長谷川知司委員長 ただいまから広聴特別委員会を開催します。今日の付議事項は3月議会報告会についてです。お手元には議会報告会の報告書とアンケート、自由記述欄の記載事項があると思います。最初に議会報告会のアンケート結果からいきます。今回参加された方は72名で、アンケート回収は66枚です。議会報告会の開催をどのように知りましたかということでは、市広報又は班回覧という方が多いということです。議会報告会についても初めてのの方が29名ということで、初めてのの方が多かったということです。このたび議会カフェという形に変えましたが、それについても皆さん好評であったようです。また参加してみたいという

方も多いですし、テーブルごとの小グループによる話し合いも良かったということです。ただ反省点は若い人が余りいなかった。20代が1名、30代がゼロ、40代5名、50代10名、60代20名、70代以上が28名ということです。以上でこれは終わりたいと思います。次、自由記述欄から、集約で出ておりますが、自由記述欄については議会報告会の開催について、議会報告会の内容について、報告会の進め方について、要望・その他についてまとめて出されております。これについては今後、これをきちんと整理した中で、またどのようにするかを決めたいと思います。次、報告会の報告書にいきたいと思います。会場ごとの報告がありますが、会場ごとで小グループに分けて、4人から5人程度のグループに分けて、意見交換をされていて、その結果が発表されています。これについては各班で常任委員会及び理科大特別委員会ごとに仕分けしてありますので、これらの意見を各担当委員会に振り分け、その委員会で回答を求め、また広聴に返してもらいたいということできたいと思いますが、どうでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）それで、各委員会に振れないところがありますので、それについては広聴委員会で議論してやっていかないといけないと思います。これについても後日、整理して委員会を開きたいと思います。皆さん議会報告会の扱いについては説明しました。この3月議会の報告会をして、今後どうしたらよいかという意見がありましたらお聞きしたいと思います。例えば、このまま続ける。あるいは元のやり方に戻すとか、いろんなやり方があると思います。6月議会は議案を見て決めたらいいとか、いろんな意見があると思いますが、今ここで言える方があれば意見をお願いします。

中村博行委員 始めた当初は賛否両論あったと思うんですね。集計を見ると大半が今回のやり方に賛同されているという結果が表れていますので、1回で終わることなく、何回かは続けるべきだと考えています。

吉永美子委員 よく参加してくださる市民から、「以前は聞いておくだけでよかったのが、意見を言わないといけないんでしょ」と言われたんです。そのときに「これについてどう思いますか」と議員が投げ掛けたときに、ほかの市民がこうやって言われた。それについて「私はこう思います」という形で言われればいいので、大丈夫ですよと言ったんですけど、今回参加をされて、感想を聞いてはおりませんが、参加されて「前が良かった」という意見は頂いておりませんし、2班のメンバーから声が出ていましたが、会場によってはとても和やかにすることもでき、全体的には身近に議員を感じていただいて、まさに膝を交えて話ができるという

雰囲気にはできたのではないかと思うので、当面はこのやり方で、改めるところがあれば改めながら行っていったらどうかと実感しているところです。

杉本保喜委員 今回のアンケートを見ると、前回のアンケートとは相当な進歩というか、改善が感じられています。一つは市広報または班回覧を見たという人が非常に多いし、また初めて参加したという人も多いということがこれを物語っていると思います。もう一つ、高千帆が土曜日の夜だったですね。4人しかいなかった。私も高千帆ですので、何人か声を掛けたんですけど、土曜日の夜はと言って、年寄りには夜に運転もできないし、出られないからという人は多いのは多いんですけど、土曜日の夜というのはちょっと避けたほうがいいのかというような私の思いです。次にやるときにその辺も参考にさせていただければというふうに思います。

長谷川知司委員長 ほかにありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）ないようでしたら、今出た意見を参考にし、次回どのようにするかは皆さんで話し合っていきたいと思います。それから、今回いろんな機関に協力をいただいていますので、両商工会議所、金融機関、自治連等についてはお礼を文書で出しておきたいと思いますが、よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）ほかに出さなくてはいけないところがありましたら、言ってください。これで3月議会報告会を終わりたいと思います。引き続き、市民懇談会の申込みが出ています。まちづくり会議M i r a iからで、テーマは山陽小野田市地方卸売市場の件となっています。具体的な内容は、「市場運営に関わる問題と正常化に向けた取組について」と「市場正常化に向けた議会の取組について」ですので、これについては産業建設常任委員会で対応していただくということによろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）ほかにないですか。

高松秀樹委員 事務局にお聞きしたい。市民懇談会ですが、要綱上は開催したときに、司会進行や会場設営などはどうなっていますか。

島津議会事務局主査 要綱上は議会が主体的に行うようになっています。市民懇談会の実施要綱第4条、懇談会の役割ですが、懇談会における司会者、テーマ報告者及び記録者は該当する委員会において協議し、決定しますと定めています。

中村博行委員 前回、市役所で開催しましたが、その際は事務局が相当協力さ

れたと思います。外に出て行く市民懇談会が今まで多かったと聞いています。その際は申請された方が場所、設営、司会等をされてきたのが通例であったとは思いますが、ただ、要綱はそうなっていると思いますけどね。

島津議会事務局主査 おっしゃるとおりで、要綱上はそうなっていますが、実際に司会をする方、テーマは相手方しか分かりませんので、そういった報告などは通常、申請された団体の方に行っているのが実態です。

高松秀樹委員 申請団体と議会側で当日の進行についてすり合わせを行っていますか。

島津議会事務局主査 委員会の委員長が申請者と打合せを行っています。

高松秀樹委員 市民懇談会の位置付けはどうなっていますか。

石田議会事務局次長 議会基本条例に市民懇談会を開くことができるという規定があり、実施方法について要綱で定めているという状況です。

島津議会事務局主査 位置付けとしては、第5章の市民と共に行動する議会というところに位置付けられています。

高松秀樹委員 担当議員が会場に行くときに事故に遭ったらどうなりますか。

島津議会事務局主査 議員派遣を取っていますので、公務として公務災害が適用されることとなります。

長谷川知司委員長 ほかにありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）以上で広聴特別委員会を終わります。

午後4時15分 散会

平成30年5月9日

広聴特別委員会委員長 長谷川 知司